

2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算説明資料

2024年11月8日

 ユシロ化学工業株式会社

Standard Market | 5013

ユシロ化学工業株式会社は、2025年4月1日より、
株式会社ユシロに社名変更いたします。

2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算業績概要

2025年3月期 第2四半期（中間期） 連結業績概要

- 売上高は、日本では主要顧客である自動車メーカーの減産影響により販売は伸び悩むが、北米を中心として販売が好調だったこと等により全体として増収。
- 営業利益は、日本では原材料価格が高止まりあるが、海外では原材料費他のコストを抑制で大幅な増益。
- 経常利益は、期末の円高により為替差損があるものの、営業利益の増加等により増益。
- 中間純利益は、経常利益の増加、関係会社株式売却益を計上により増益。

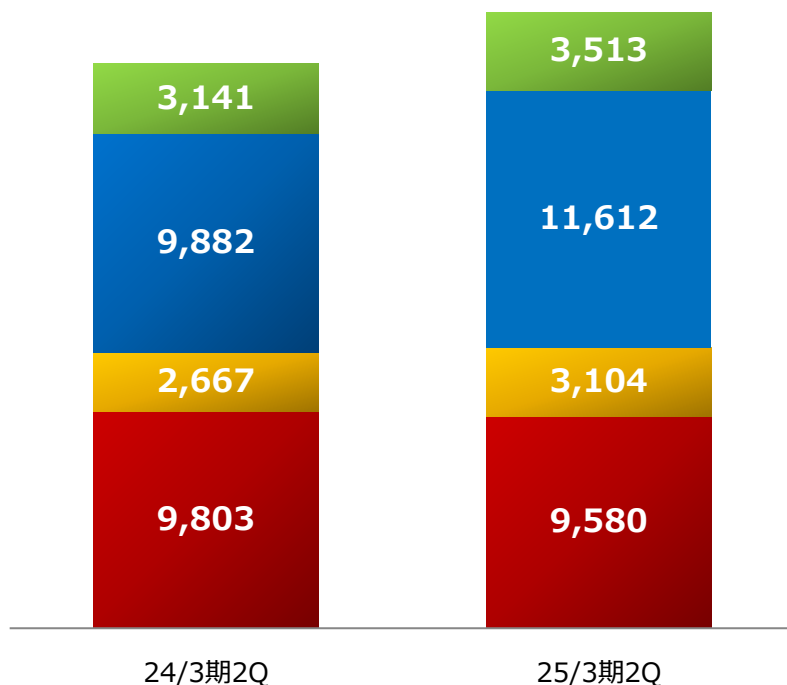
(百万円)	24/3期2Q	25/3期2Q	前期比	
			増減額	増減率
売上高	25,495	27,811	+2,315	+9.1%
営業利益	1,771	2,613	+841	+47.5%
経常利益	2,401	3,130	+729	+30.4%
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,805	2,486	+680	+37.7%

2025年3月期 第2四半期（中間期） 地域別売上高

- 日本は、販売が伸び悩み、わずかに減収。
- メキシコは、前期からの好調を維持し増収。
- 中国は、底だった24/3期2Qからは持ち直し増収。
- タイは、自動車市場の低迷により販売数量が伸び悩みわずかな増収にとどまる。

セグメント別売上高（百万円）

■ 日本 ■ 中国 ■ 南北アメリカ ■ 東南アジア/インド

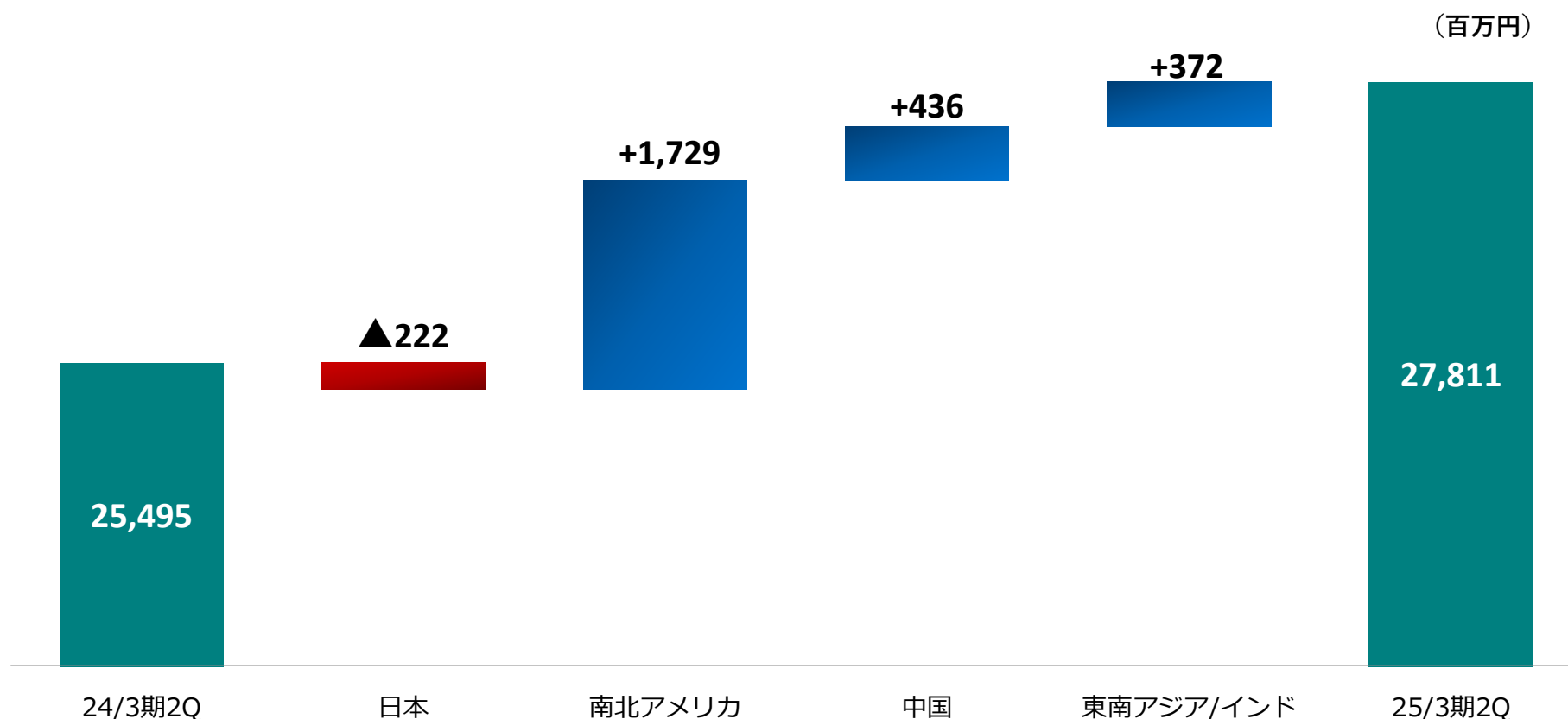


拠点別売上高（百万円） ※個社の単純合算数値

拠点		24/3期2Q	25/3期2Q	増減率
日本		10,895	10,856	▲0.4%
アメリカ	ユシロアメリカ	2,834	3,194	+12.7%
	クオリケム Inc.	5,276	6,074	+15.1%
メキシコ		1,020	1,373	+34.7%
ブラジル		887	1,047	+17.9%
中国		3,083	3,678	+19.3%
タイ		1,142	1,210	+6.0%
マレーシア		781	884	+13.2%
インド		819	939	+14.7%
インドネシア		788	876	+11.1%

2025年3月期 第2四半期（中間期） セグメント別売上高増減

- 日本は、自動車メーカーにおける生産減の影響により減収。
- 南北アメリカは、北米、メキシコが引き続き好調で、円安による換算影響もあり大幅な増収。
- 中国は、日系自動車メーカーの稼働率低下の影響は続くが、昨年下期からの回復傾向を維持し増収。
- 東南アジア・インドは、タイにおいて自動車市場低迷の影響はあるが、インドは引き続き好調で、インドネシアでの新規拡販やマレーシアからの輸出増なども寄与し増収。

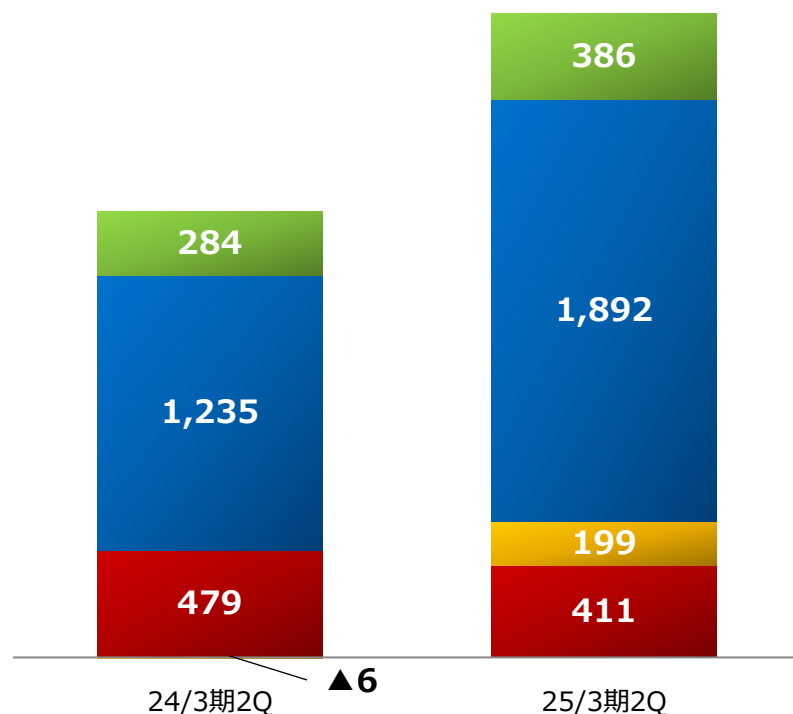


2025年3月期 第2四半期（中間期） 地域別営業利益

- 日本は、販売数量の伸び悩みに加え、原材料価格の高止まりや経費増の影響もあり減益
- メキシコは、販売価格改定と販売増で大幅増益。
- ブラジルは、販売は苦戦するも原材料価格の落ち着きから増益。
- 中国は、コスト削減等により原価率が改善しており、昨年同期からの営業黒字を継続。
- マレーシアは、輸出が高水準で推移し、販売価格改定の効果もあり増益。
- インドネシアは、昨年同期からの販売価格改定の影響もあり増益。

セグメント別営業利益（百万円）

■ 日本 ■ 中国 ■ 南北アメリカ ■ 東南アジア/インド

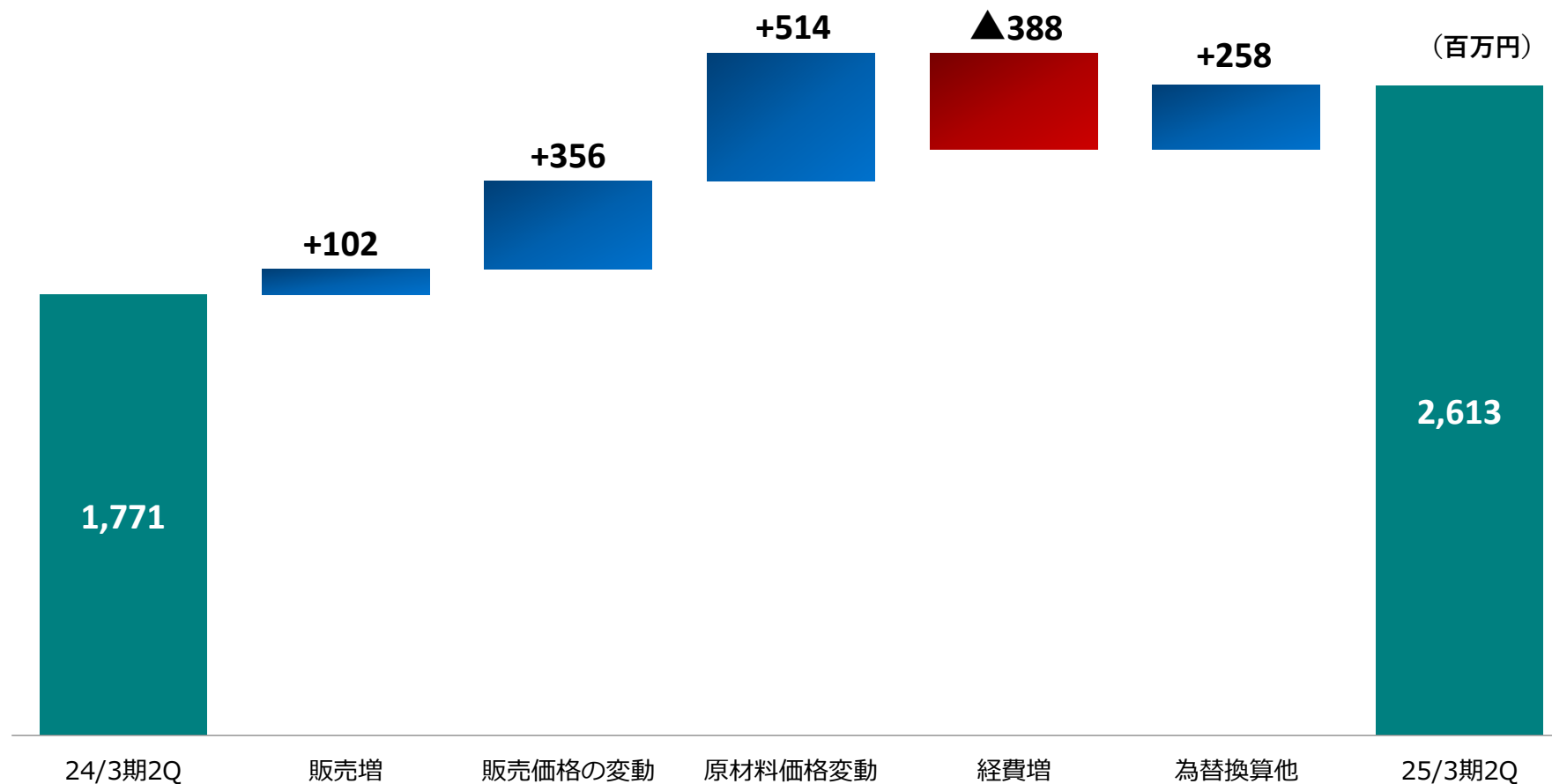


拠点別営業利益（百万円） ※個社の単純合算数値

拠点		24/3期2Q	25/3期2Q	増減率
日本		359	288	▲19.7%
アメリカ	ユシロアメリカ	354	531	+49.8%
	クオリケム Inc.	642	925	+44.1%
メキシコ		145	280	+92.4%
ブラジル		122	200	+63.8%
中国		23	226	+867.3%
タイ		132	160	+21.3%
マレーシア		66	101	+53.8%
インド		50	64	+27.9%
インドネシア		74	115	+56.0%

2025年3月期 第2四半期（中間期） 営業利益増減要因分析

- 経費増はあったが、海外での原材料価格の落ち着き、販売価格の上昇、為替換算等により増益。



2025年3月期 業績予想

2025年3月期の主な取り組み

1	原材料価格上昇への対応	・ 原材料価格の上昇を捉えた適正な価格転嫁の実施 ・ サステナブルな原材料調達
2	金属加工油剤の販売拡大	・ 自動車業界隣接分野及び他市場への参入・拡大 ・ 航空機など非自動車分野への高付加価値製品の拡大 ・ 環境に優しい切削油剤、CO₂削減に貢献する液切れ性の良い洗浄剤を展開
3	市場開拓	・ CD誘導体の機能性添加剤としての販売先拡大と量産体制構築 ・ ヒカリアクション製品のラインアップ拡充 ・ 車両洗浄および床用ガラスコーティング剤の販売拡大
4	ESG戦略の推進	・ サステナビリティ推進委員会の取り組みによる推進 ・ ESG推進項目のKPI化と目標設定

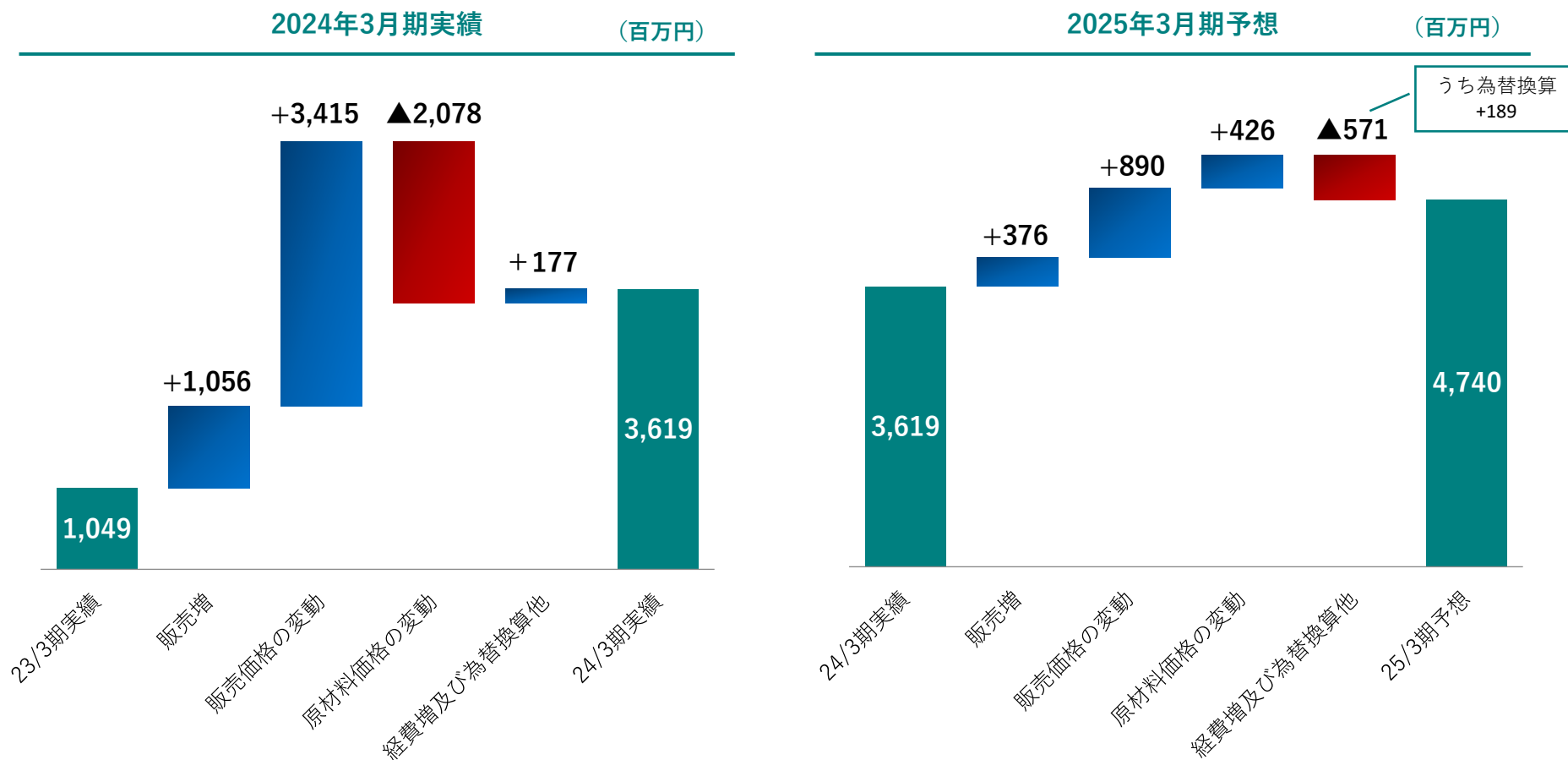
2025年3月期 連結業績予想

- 売上高は、伸び悩みが見られるが、為替の換算もあり、期首の想定通りで推移。
- 利益面は、経費の増加はあるものの価格改定及び原材料価格の落ち着きで、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は前期を大きく上回る見通し。

(百万円)	24/3期実績	25/3期予想 (前回予想)	25/3期予想 (今回予想)	前期比		前回予想 からの増減額
				増減額	増減率	
売上高	52,985	55,500	55,500	+2,514	+4.7%	—
営業利益	3,619	3,680	4,740	+1,120	+31.0%	+1,060
経常利益	4,628	4,340	5,640	+1,011	+21.8%	+1,300
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,010	3,100	4,100	+1,089	+36.2%	+1,000
ROE	8.0%	7.5%	9.8%	—	—	—
為替（米ドル）	140円	145円	149円	—	—	—

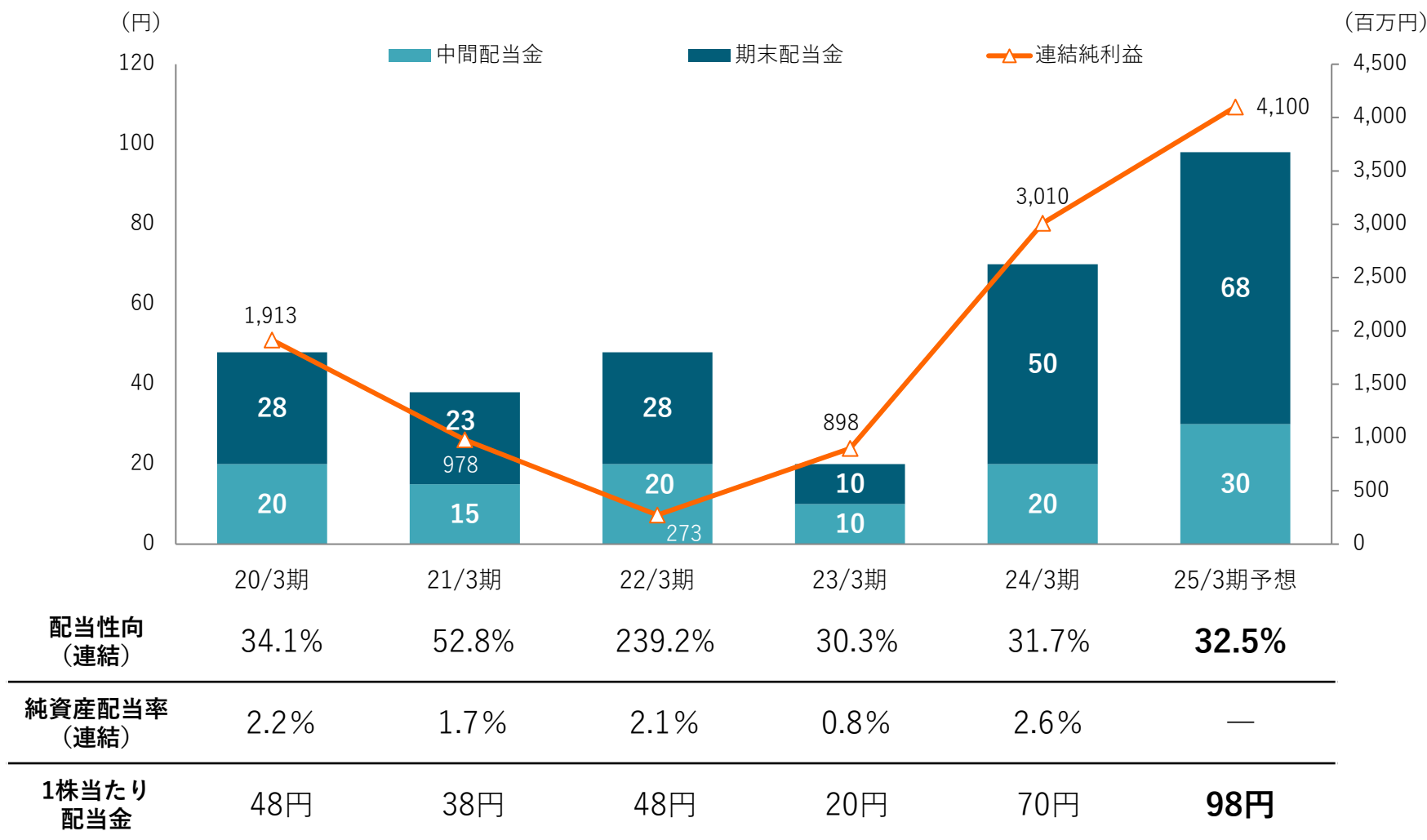
連結営業利益 増減要因分析

- 25/3期は、販売価格の改定による影響は一巡。海外での原材料価格の落ち着きから大幅増益を見込む。



株主還元

- 連結配当性向を30%以上とし、投資とのバランスを考慮の上、安定的な配当を目指す。
- 今回の業績予想修正に伴い、配当性向維持の観点から、1株当たり配当金も修正。



当資料取扱上の注意

当資料に記されたユシロの現在の計画・見通し・戦略等のうち歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたユシロの経営者の判断に基づいた、将来の業績に対する見通しであります。従いまして、これら業績の見通しのみに全面的に依拠されることは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を与え得るリスクや不確定な要素には、以下のものが含まれます。

- ①ユシログループの事業環境を取り巻く世界情勢
- ②世界の原油価格動向
- ③米ドルを中心とした為替レートの変動
- ④偶発事象 等

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確定な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでユシロをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。

